

## 組合の動き

1・22	学院・短期講座開講「贈与税と譲渡所得税の計算と実務」 講師 谷口 薫先生 参加 85名
1・22	近畿税理士会伏見支部新年賀詞意見交換会出席 於 リーガロイヤルホテル京都
1・23	全国税理士共栄会理事会出席
1・23	学院・短期講座開講「事業承継とM&A税理士の役割」 講師 樺澤智生先生 参加 62名
1・24	近畿税理士会右京支部例会・研修会・懇親会出席 於 京都全日空ホテル
1・31	AIGスター生命との懇談会開催 於 祇園 いし田
2・5	学院・短期講座開講「所得税の計算と申告の実務」 講師 川勝高博先生 参加 165名
2・6	中間監査実施
2・6	諸問題検討特別委員会開催（検討課題の整理について）
2・8	保険第一小委員会開催（大同生命保有契約還元金について）
2・12	法規・諸規則委員会開催（定款の整備について）
2・15	保険第一委員会【書面審議】開催 （平成19年度大同生命保有契約還元金計算方法について）
2・18	事業委員会【書面審議】開催 （提携企業「(株)日税ビジネスサービス」 純正品価格帯一部変更について）
2・22	正副理事長会【書面審議】開催 （平成19年度大同生命保有契約還元金計算方法について）
2・27	正副理事長会【書面審議】開催 （提携企業「(株)日税ビジネスサービス」 純正品価格帯一部変更について）
3・21	事業委員会開催（4月の事業推進協議会について）
3・22～ 23	事務局職員慰安旅行実施
3・24	正副理事長会開催
3・24	常務理事会開催
3・24	理事会開催
3・27	保険第一小委員会開催（保有契約還元金の支払について）
3・28	日本生命との懇談会開催
3・29	第一生命・日本生命との親睦ゴルフコンペ開催 於 城陽カントリー倶楽部
4・1	旅行・ゴルフ世話人会開催 （平成19年度一泊旅行・大同生命ゴルフコンペ開催について）
4・3	正副理事長会開催
4・8	第41回大同生命ゴルフコンペ開催 於 瀬田ゴルフコース 参加 90名
4・10	学院・職員研修講座開講「新入職員のためのマナー教室」 講師 豊田賀津子先生 参加 24名
4・11	学院・短期講座開講「相続の現状と相続対策の基本」 講師 田中 清先生 参加 110名
4・14	事業委員会開催（事業推進協議会開催要領について）
4・14	事業推進協議会開催
4・15	京都税理士会館竣工4周年記念講演開催 「日本経済これからどうなる」 講師 今井 激先生 参加 99名
4・16	保険第一委員会開催 （次年度からの保有契約還元金計算方法について）

4・16	大同生命との連絡協議会開催 （総合事業保障プランの実績報告）
4・17	学院・職員研修講座開講「やさしい税金教室」 講師 室谷澄男先生 参加 44名
4・18	学院・職員研修講座開講（福知山）「やさしい税金教室」 講師 室谷澄男先生 参加 24名
4・20～ 21	一泊旅行「道後温泉」（愛媛県） 参加 103名
4・21	全国税理士共栄会 平成20年 本部・業推委員・委託組合責任者会議出席 於 ホテルパシフィック東京
4・23	学院・短期講座開講「事務所内の効率化」 講師 木下隆一先生 参加 55名
4・24	学院運営委員会開催（今後の学院運営について）
4・24	学院・事例勉強会開講「法人税関係」全10回（1回目） 講師 植田 卓先生 参加 70名
4・25	法規・諸規則委員会及び諸問題検討特別委員会開催 （正副理事長会〈4/3開催〉の決議事項のご説明）
4・25	学院・職員研修講座開講「社会・労働保険の基礎知識」 講師 高木和男先生 参加 41名
5・1	学院・事例勉強会開講「公益法人関係」全10回（2回目） 講師 長井庸子先生 参加 70名
5・7	編集委員会開催（第121号編集割付）
5・8	学院・実務講座開講「相続税申告の実務」全10回（1回目） 講師 藤本純也先生 参加 44名
5・8	学院・事例勉強会開講「所得税関係」全10回（3回目） 講師 石原健次先生 参加 70名
5・9	学院・短期講座開講「経営計画と利益管理のポイント」 講師 和田正次先生 参加 66名
5・13	正副理事長会開催
5・13	大同生命優秀営業社員表彰式・祝賀パーティー開催 於 京都ホテルオークラ
5・13	学院・簿記実務コース開講・全7回（1回目） 講師 岩崎紀子先生 参加 12名
5・15	編集委員会開催（第121号ゲラ校正）
5・15	京都府中小企業団体中央会 5月度（第14回）理事会出席
5・15	峰山支部定期総会祝電
5・15	学院・実務講座開講「相続税申告の実務」全10回（2回目） 講師 藤本純也先生 参加 44名
5・15	学院・事例勉強会「所得税関係」全10回（4回目） 講師 石原健次先生 参加 70名
5・16	大同保険推進協議会実務者会議開催 （各税協推進施策・推進状況について）
5・19	編集委員会開催（第121号ゲラ再校正）
5・19	第10回京税協・日生共催ゴルフコンペ開催 於 名神八日市カントリー倶楽部
5・20	事業小委員会開催（第37期予算について）
5・20	宮津支部定期総会祝電
5・20	学院・簿記実務コース開講・全7回（2回目） 講師 岩崎紀子先生 参加 12名



## 償却資産(固定資産税)の調査に御協力を!

償却資産につきましては、所有している資産を毎年1月31日までに申告していただくことになっております。京都市では、申告された内容を確認するために、法人税等の減価償却資産明細書等と京都市の課税データとの照合調査を行っております。実施に当たり、償却資産所有者の方に、調査資料として税務書類等の写しの提出や開示を求める場合があります。税理士の皆様方にも、この調査に御理解・御協力をお願いいたします。なお、調査の結果によりましては、過年度分につきましても申告内容の是正をさせていただく場合があります。

これからも、より良いサービスで、  
変わらない「おつきあい」。



**商工中金**

本店 東京都中央区八重洲2-10-17  
TEL:03-3272-6111(大代表)  
http://www.shokochukin.jp/

**2008.10.1 商工中金は株式会社になります。**

全国税理士共栄会だより No.384 (2008年4月号)

### やっぱりステータスが違う

海外旅行やショッピング、あると便利な

全税共  
ゴールドカード



アメリカン・エクスプレス・カード  
03-3220-8255 9:00AM~5:00PM  
(祝祭日、年末年始を除く)



Zダイナースカード  
0120-041-962  
(24時間・年中無休)

JCB系-Zゴールドカードは取扱、システム変更により、新規募集を停止しています。

全税共のゴールドカードは、税理士業界の光栄の象徴に立っています。  
関係者にもおすすませます。  
お申込み・お問合せは各カード会社へ直接お問い合わせください。

全税共の事業はホームページでご案内しています。http://www.zenzeikyo.com/

全国税理士共栄会だより No.385 (2008年5月号)



第23回 全国統一の成功に向け  
全税共主催の本部・全国展開  
推進委員会・事務委員等が主催する  
「連絡協議会」を開催  
本会定例会は4月22日(月)午後から東京・品川区で「連絡協議会」を開催し、新年度の活動方針や今後の全国統一キャンペーンを推進しました。

税理士業界と関わりが深い「連絡協議会」は、日本税理士会連合会(連合)の活動の中心にもなっており、今後も引き続き、心強い後援をいただきたいと思います。

続いて、現在おこなわれている日本税理士会連合会(連合)の事業推進に関する本部協議会について、大村で幹事の協議を踏襲しながら、本部で連絡協議会を開催し、本部で協議を進めたいと考えています。協議会を推進するため、税理士会連合会(連合)の活動を支援していきたいと考えています。また、本部の活動がそれぞれの活動が活

第10回 全税共地域文化賞贈呈式  
「あまてんがくぼせんかい」  
「あまてんがくぼせんかい」が受賞  
第16回「全税共地域文化賞」を贈呈

全税共文化賞は、税理士業界の文化を奨励し、地域文化の発展に貢献することを目的として、毎年1回、全税共主催の本部・全国展開推進委員会・事務委員等が主催する「連絡協議会」を開催し、新年度の活動方針や今後の全国統一キャンペーンを推進しました。

全税共文化賞は、税理士業界の文化を奨励し、地域文化の発展に貢献することを目的として、毎年1回、全税共主催の本部・全国展開推進委員会・事務委員等が主催する「連絡協議会」を開催し、新年度の活動方針や今後の全国統一キャンペーンを推進しました。

全税共の事業はホームページでご案内しています。http://www.zenzeikyo.com/

編集長から

リニューアルしてから2号目です。まだまだ進化していくつもりですが、今号では題字を書家の方にお願ひし、「KYOZEIKYO」から「京税協」に変更しました。やはり、漢字にすると表紙が締まります。同時に、京都らしさも出るような気がするのは自画自賛すぎるでしょうか。



著者 テビット・ゾペテイ  
編集委員 上埜諭子

「いちげんさん」は、スイス生まれの作者が日本語で書いた作品で、すばる文学賞を受賞し、直木賞候補にもなり、映画化もされて話題になった作品である。

「いちげんさん」とは一見さんのことで、いわゆる「一見さんお断り」の一見さんのことであろうと思う。

京都の大学で日本文学を専攻するスイス人留学生の「僕」は、美しい盲目の女性「京子」に出会い、本を読んで聞かせる「対面朗読」という仕事を引き受けた。対面朗読は「舞姫」から始まり、「不如帰」「砂の女」など様々な日本文学を朗読していき、朗読の合間、二人は喫茶店でお茶を飲んだり、映画館で映画を観たりした。

彼は一人でも京都の街を散策した。下宿は知恩院と円山公園の近くにあった。八坂神社の中を歩いて、出店が周りに現れたらそこが円山公園である。



東山をバックに敷地10万㎡の回遊式庭園で、園内には野外音楽堂、坂本龍馬、中岡慎太郎の銅像・碑のほか、



有名な料亭がいくつもある。ここから北へ少し歩くと除夜の鐘と日本一の大きさを誇る三門（正式名は三解説門）でおなじみのお寺、知恩院がある。承安5年に法然上人が浄土宗の総本山として開かれ、豊臣秀吉や徳川家康の庇護を受け、現在の壮大な大伽藍が出来上がり、元和5年に建立されたわが国最大の桜門をはじめ、その広大な堂社は歴史的価値の高いものになっている。

彼は古めかしい風景や建造物が純粹に好きだった。京都の純日本的な空間に浸って、京都の街に何かを激しく求め、無条件に街に受け入れられたかった。しかし、期待というものは往々に裏切られるためにあるかのように、街ではガイジン扱いされて、修学旅行の季節には、彼らと出会うことはいつの間にか悪夢になり、グループの一人に発見されてしまうと、即座に「あっ、外人だ！」の声が飛び、よそ者を「一見さん」と呼び、その外見の為に京都という街に受け入れられず、常に自分が外国人という異質な存在である事を強く意識させられて、疎外感を感じ始めていた。

京子との逢瀬を重ねていくうちに、その関係は深く親密になり、いつも自分の気持ちを素直に表現しようとする京子に彼は心の安らぎを覚えていた。盲目の京子は外見からの先入観を持たずに受け入れてくれるからだだろう。

その一方、京都の街で感じる疎外感はずっと強まり、そのような生活を続けていくうちに、いつしか日本或いは京都という街の閉鎖性から逃れたいと感じ始めていた。

京都の街に受け入れられたいと願う彼は、南禅寺、鞍馬、嵐山、嵯峨野、平安神宮などに足を運んで、あきることなく街を何時間も歩き回り理屈ぬきで街に溶け込もうとした。そんな彼が

好きな場所のひとつに詩仙堂がある。桜が咲く頃が過ぎて、観光客も少なく、鹿おどしの音が規則正しく響くその庭を彼は何時間も眺めた。



詩仙堂は家康の家臣であった石山丈山が寛永18年に造営し、31年間隠遁した庵である。詩仙堂の名の由来は、中国の漢晋唐宋の詩仙36人の肖像を狩野探幽に描かせ、図上にそれ等各詩人の詩を丈山自ら書いて四方の壁に掲げた「詩仙の間」を中心としているところから呼ばれているようだ。

このように主人公の僕の気持を読み取ると、京都の街の閉鎖性をクローズアップしてしまうが、この作品は基本的には美しい京都の街を舞台に展開される恋愛小説であり、行間から流れる空気は生活空間としての京都の雰囲気を感じさせる文体で生き活きと伝えている。

季節は巡り、卒論を仕上げた彼にフランスのテレビ局の通訳の仕事が舞い込んだ。その仕事の成功により、パリで就職先を紹介して貰った彼は日本を離れる決心をする。一方、独立心の強い京子も東京での就職を決めていた。

春、それぞれの人生の転機を迎えた二人は、桜の花びらの舞う円山公園で別れる。白い杖を手に一人で歩いていく京子の後姿を、「僕」は何時までも見送っていた。

作品中に描かれる京都の街は、私の好きだった思い出の染み付いた懐かしい風景、そして誰もが一度は経験したであろう、出会いと別れにふさわしい京都の街である。私の青春時代が走馬燈のように鮮やかに蘇ってくる。そんな感傷的な気分させられた作品だった。